

## 冬の動物園

厳冬の東山動物園は人出が少なく、動物をじっくり見ることができる。白くまやペンギンなど寒さを喜んでいる動物もいるが、多くの動物たちは寒さに震えている感じだ。年末にキリンの雄の赤ちゃんが誕生して、これで1歳未満のキリンが3頭となった。まだ小さいながらも、母親と一緒に餌を食べたりしている。新聞でも赤ちゃんキリンが「首を長〜くして待っています」と報じられた。赤ちゃんキリンも厳しい寒さに負けずに大きく育ってほしい。

動物園に行くと、やはりゴリラの様子が気になる。カメラを向けると、タイミングよく振り向いてくれた。「カメラ目線」のようだ。もう一頭はすっぽりタイヤにおさまり、日光を浴びながらの昼寝である。じつに気持ちよさそうに眠っているのが、写真からも伝わってくる。



こうして冬の動物園も、愛嬌のある動物に会えて、なかなか良いものだ。となりの暖かい植物園の温室に入ると、景色が春から夏へと一変する。紅いブーゲンビリアの花が、ひときわ美しく輝いて見えた。寒さに震えながら動物を見てから、暖かい温室でひと時の春を感じて、動植物園をあとにした。



(2006年2月6日 記)